学校番号	3001

令和５年度　家庭科

教科	家庭	科目	服飾手芸	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	―						
副教材等	―						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

この科目はものづくりを通して、手芸に関する知識と技術を徹底して身に付けていきます。また、“より豊かな生活”を目指して、創造力や自分らしさを表現しながら、ものや環境を大切にする心を育みます。作品製作を進めるにあたっては、話をよく聞き、わからなければ指示を仰ぐ、作業を確認する、自分で考えて行動するなど、生活や社会でも必要な実践力も養います。共にコミュニケーションをとりながら楽しんで取り組んでいきましょう。

2　学習の到達目標

手芸の種類、特徴及び各種手芸の技法などに関する知識と技術を習得させ、手芸作品を創造的に製作し、修繕を含め実生活に活かせる能力と態度を育てる。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:技能	d:知識・理解
観点の趣旨	手芸に関心を持ち、作品製作に意欲的に取り組み、生活の充実向上を目指した実践的な態度を身に付けている。	各種手芸の技法を活用し、創造力を働かせながら作品製作に取り組み、実生活で活かすことができる能力を身に付けている。	各種手芸に関する基礎的・基本的な技術を身に付けている。	各種手芸に関する基礎的・基本的な知識を身に付けている。
評価方法	ワークシート 課題レポート 自己評価 取組態度（行動観察）	ワークシート 課題レポート 作品 取組態度（行動観察）	実技テスト 実践課題 作品制作	ワークシート 課題レポート

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
一学期	○ｵﾘｴﾝﾃｰｼｮﾝ ○手芸の基本 ○ミシン縫い	『服飾手芸』を学ぶにあたって ○手芸の種類と各種手芸の技法 ○ミシン縫い習得 （留め具の付け方、正しい縫製の技術等） ＊エコ・バック （装飾アレンジ） ＊オリジナル巾着 ＊帆布バック	○	○	○	○	a：作品製作に意欲的に取り組み、生活の充実向上を目指した実践的な態度を身に付けている。 b：創造力を働かせながら作品製作に取り組み、実生活で活かすことができる能力を身に付けている。 c：ミシン縫い、各作品の作り方、各種技法についての基礎的・基本的な技能を身に付けている。 ｄ：ミシン縫い、各作品の作り方、各種技法についての基礎的・基本的な知識を身に付けている。	授業観察 実技テスト ワークシート及び課題レポート 自己評価 作品提出
二学期	○手縫い ○各種応用	○手縫い習得　及び　各種応用 ＊刺し子縫い ＊手縫いぬいぐるみ 及び 自由製作（アレンジ） ＊ファスナーポーチ２種 ＊マスク製作等を持参し、＜地域連携：保育園児との文化交流授業＞	○	○	○	○	a：作品製作に意欲的に取り組み、生活の充実向上を目指した実践的な態度を身に付けている。 b：創造力を働かせながら作品製作に取り組み、実生活で活かすことができる能力を身に付けている。 c：手縫い、各作品の作り方、各種技法についての基礎的・基本的な技能を身に付けている。 ｄ：手縫い、各作品の作り方、各種技法についての基礎的・基本的な知識を身に付けている。	授業観察 実技テスト ワークシート及び課題レポート 自己評価 作品提出

・生活の創造（ものや環境負荷の少ない生活を考える）
・創意工夫（創造力や自分らしさの表現）
・社会人基礎力（作業の進め方、コミュニケーション力など）
＊年間通して取り組んでいく

三学期	○応用活用	＊皮細工作品 及び自由製作（アレンジ）	○	○	○	○	a：作品製作に意欲的に取り組み、生活の充実向上を目指した実践的な態度を身に付けている。 b：創造力を働かせながら作品製作に取り組み、実生活で活かすことができる能力を身に付けている。 c：手縫いの技法を応用した皮細工についての基礎的・基本的な技能を身に付けている。 ｄ：手縫いの技法を応用した皮細工についての基礎的・基本的な知識を身に付けている。	授業観察 ワークシート及び課題レポート 自己評価 作品提出

＊年間を通して実習を行いながら実践的・体験的に学びを深めていく。
＊ホームプロジェクトと学校家庭クラブ活動においては、長期休暇を中心に行う。

※表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断・表現
c:技能　　d:知識・理解

※年間指導計画（例）作成上の留意点
・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。